
本ニュースリリースは、カルソニックカンセイ株式会社とユニアデックス株式会社の共同ニュースリリースです。
重複して配信される場合がありますことを、ご了承お願いいたします。

NEWS RELEASE

2017年6月30日

カルソニックカンセイ、ユニアデックス 次世代 IT 基盤を見据え、新アーキテクチャプラットフォーム 「Cisco DNA」を用いた共同実証実験を国内で初めて開始 — 「SD-Access」を活用し、これまで困難であった IT 基盤の自動化を検証 —

カルソニックカンセイ株式会社（本社：埼玉県さいたま市、社長：森谷 弘史、以下、カルソニックカンセイ）と、ユニアデックス株式会社（本社：東京都江東区、社長：東 常夫、以下 ユニアデックス）は、米国シスコ社の「Cisco DNA^(注1)」を用い、カルソニックカンセイの次世代 IT 基盤を見据えたネットワークの最適化と IT 運用効率化の実証実験を 7 月から実施します。なお、Cisco DNA による「SD-Access^(注2)」の実証実験は、国内初の取り組みとなります。

現在、サーバー仮想化や SDN（Software Defined Network）の分野においては、データセンターネットワークやクラウドネットワークが先行しており、設定・管理の自動化・高度化利用が日々実現されています。その一方で、ヒトとモノが複雑化する企業内ネットワーク（LAN）の自動化は非常に難しく、ネットワークごとに管理手法が異なります。また、従来のネットワークにおける問題は、機器それぞれが自律的に動作するため、ネットワーク環境の構築・運用において、管理者の属人性と通信機器ごとの初期投資と管理負担が高くなります。

今回両社が実証実験する「Cisco DNA」では、ヒトとモノのネットワークを統合的に管理するため、安全なネットワーク環境を構築することができます。また、固定化されがちであった企業内ネットワークにおいて、仮想化・自動化を実現する機能を備えています。これらの機能による業務効率の向上と運用コストの削減が、本実証実験において期待される効果となります。

また、両社は、次世代 IT 基盤の実証に「Cisco DNA」のネットワークソリューション「SD-Access」を採用します。これにより、従来、設計・設定が個別対応であった企業内ネットワークが統合されたネットワークとして一元管理でき、常に IT 基盤の最適化を維持できているか検証します。

カルソニックカンセイは、グローバル経営を進展させ、日々変化を続ける世界経済・社会にしなやかに対応していくうえで、今回の共同実証実験の成果が、海外拠点も含めた情報環境の一層の充実につながっていくものになると期待しています。

ユニアデックスは、共同実証実験で得られた知見をもとに「Cisco DNA」を核とした次世代ネットワークソリューションの提供を推進していきます。ネットワーク環境の構築・運用の自動化とそれによる運用コストの削減より、お客さまの IT 環境の最適化と安全な企業内ネットワークを提供していきます。

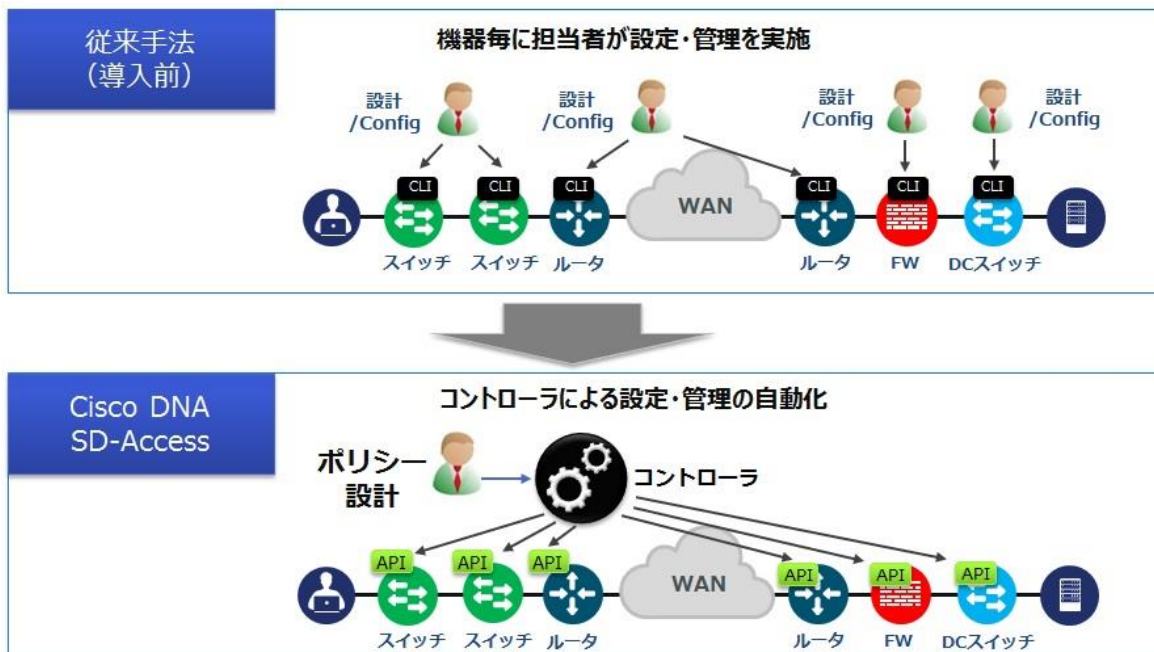
今後両社は、今回の共同実証実験のみならず、AI やマルチクラウドの高度な技術の利用においても、積極的に IT 活用による社会貢献を推進していきます。

以上

■「次世代 IT 基盤」 実装イメージ図

これまでのネットワーク機器ごとに個別の設計・管理であったものが、「SD-Access」では、ポリシー設計になります。従来の設定手法である CLI (注3) 経由から、コントローラ経由 (API (注4) 経由) が基本動作となります。その効果として、自動化や可視化が容易となり、効率化、迅速化、運用コスト削減を実現します。

Cisco DNA / SD-Accessのビジョン ～変化とメリット～



注 1 : Cisco DNA

米国シスコ社が提唱する Cisco Digital Network Architecture の略です。デジタル時代のアーキテクチャプラットフォームのことで、SDN(Software Defined Network) 技術を組み合わせた複数のソリューション群から構成されています。

注 2 : SD-Access

Cisco DNA における企業内のネットワークに特化した最新の SDN ソリューションです。ネットワーク管理者は事前にポリシー設計を行うことで、対象機器に設定・管理を自動で反映する機能です。

注 3 : CLI (Command Line Interface)

キーボードからコマンドと呼ばれる命令語を打ち込んで機器を操作すること、またはそのインターフェイスです。

注 4 : API (Application Programming Interface)

ソフトウェアの機能を外部から利用するインターフェイスです。

■カルソニックカンセイについて <https://www.calsonickansei.co.jp>

カルソニックカンセイは自動車関連企業で、日本にグローバル本社を、米州、欧州、中国、アジアに統括機能を置き、グローバルネットワークを築いています。さらに、日本、アメリカ、メキシコ、イギリス、フランス、中国、タイ、インドに開発拠点を、そして世界に79の生産拠点をもち、すべてのお客様に最適供給できる体制を構築、2万人を超える従業員が、国籍を超えて心をひとつにし、魅力ある製品の提供に取り組んでいます。

■ユニアドックスについて <http://www.uniadex.co.jp>

日本ユニシスグループの「インフラトータルサービス」企業として、ICT基盤構築・運用・保守、設備設計・工事などを、ベンダーを問わず高い顧客満足度で提供しています。サーバー、ネットワーク、デバイスなどを統合的に取り扱い、ICTインテグレーション、システムマネジメント、ファシリティ、保守サポート、グローバル対応、さらに複数のクラウドサービス利用を支援する「クラウドフェデレーションサービス」などを軸に、多様なソリューションとサービスメニューで支援しています。

※記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

<報道関係問い合わせ窓口>

カルソニックカンセイ株式会社 CSR／広報・IRグループ 熊谷
電話：048-660-2161 E-mail：pr@ck-mail.com

ユニアドックス株式会社 企画部 広報室 石崎・神戸（ごうど）
電話：03-4579-1081 E-mail：press-box@ml.uniadex.co.jp